

# 来週の「売り物」記事はこれ



2012年12月21日号 毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

## 振り子は止まった！

### 石原都政の後継者 猪瀬直樹新知事の素顔

朝刊 23日（日）



国民の1割が集中する首都東京。その予算規模はお隣の韓国に匹敵するともいわれます。地方自治体でありながら、石原慎太郎・前知事は尖閣諸島の購入計画をぶち上げ、日中間にこれまでにない緊張をもたらすなど、善し悪しは別として存在感を増しています。そして、石原氏の国政への再転身を機に行われた都知事選では、副知事の猪瀬直樹氏＝写真＝が過去最多得票を集めて初当選しました。これまで、都民の意識は、保革の間を振り子のように動いていましたが、振り子は止まり国にモノ申す「石原都政」の継続を選びました。石原氏同様、作家としてスタートし「首都・東京」の権力のトップに上り詰めた猪瀬直樹氏の素顔を、長年都政をウオッチし続けてきたベテラン記者がていねいに描きます。



日曜朝は『S』で始まる——。ご期待ください。

## 安倍再登板内閣スタート

朝刊 27日



衆院選の「自民圧勝」を受け、安倍晋三総裁＝写真＝が26日の特別国会で新首相に指名されます。安倍氏の首相就任は5年ぶり。1度辞めた首相が再登板するのは、吉田内閣以来です。安倍氏はただちに組閣作業を行い、安倍内閣をスタートさせます。安倍氏は景気対策を重視し、補正予算編成、2013年度予算編成に全力をあげる構えです。27日朝刊では、「年金漏れ」問題や閣僚の不祥事で1年の短命で終わった経験を、安倍氏はどう生かすのか。新内閣の顔ぶれをふまえながら、「安倍丸」がどこに向かうのかを分析します。また、組閣人事の裏話なども盛り込みます。このほか、新閣僚の横顔を特集面で掲載します。

## 運動面連載「インサイド」

### Jリーグが変えたスポーツ界——20年の足跡を追う



運動面連載インサイド「Jリーグ20年」の第4部は、日本のスポーツ界に与えた影響について検証をします。「企業頼み」からの脱却を目指した「地域密着」の理念は、サッカーはもちろん他のスポーツにも大きな意識改革をもたらせました。それはバスケットボールやバレーボール、ラグビーなど球技のトップリーグに顕著です。しかし、高く掲げた理想と現実のギャップも存在します。25日から5回の連載で、その実情を紹介します。

また、25日の「月刊サッカー」は、ゴールを電子機器で判定する「GLT」をメインの話題で取り上げます。

—50周年の「花園」で若さが激突—

## 第92回全国高校ラグビー 27日開幕

第92回全国高校ラグビー大会（毎日新聞社主催）は27日、東大阪市の近鉄花園ラグビー場で開幕し、予選を勝ち抜いた51代表が頂点を目指して1月7日の決勝まで熱戦を展開します。今回は、会場が「花園」に移って50周年となる記念の大会。史上3校目の4連覇を狙う東福岡（福岡）をはじめ、常翔学園（大阪第1）、秋田工（秋田）、国学院久我山（東京第1）、桐蔭学園（神奈川）などが優勝候補に挙げられています。運動面の連載に続き、26日には選手名鑑を掲載。大会の様子は紙面で熱く報じます。



## もう一度食べたい「シャシャンボ」

くらしナビ生活面 25日（火）



山口県下松市の男性（65）からお手紙をいただきました。「子どものころ食べたシャシャンボをもう一度食べたい」。調べたところ、東京都板橋区の植物園でシャシャンボの木を見つけました。味も形もブルーベリーそっくりの果実。味わいと不思議な名前の由来を紹介します。

植物図鑑より

## 愛犬と一緒に食べたいおせち くらしナビ動物面 25日（火）

家族の一員である愛犬と一緒におせちを食べて、お正月を楽しく過ごしませんか。調味料をほとんど使わないで作った煮物やサツマイモのきんとん、ニンジンの牛肉巻き、ごまめなどを紹介します。犬用手作りご飯を製造販売する会社「ドッグダイナー」（東京都）の代表、笹生真彩子さんに教えていただきました。



## 年末お役立ち⑤まだ間に合うおせち

くらしナビ生活面 30日（日）



「あ！ おせち準備していない…」と気づいたあなた。大丈夫、記事を読んですぐ買い物に行けばまだ間に合います。グリルや土鍋を使っておにしめ、なます、伊達巻き、海老の塩焼き、たづくり、ローストビーフを2時間で一気に作り上げる方法をご紹介します。東京ガス「食情報センター」の杉山智美さんに聞きました。

## 仲畑貴志さんと選ぶ 万能川柳2012年

夕刊特集ワイド面 25日（火）

本紙朝刊の人気欄「仲畑流 万能川柳」に掲載された約6400句の中から、選者の仲畑貴志さんと本紙が80句を選び、今年を振り返る。＜性来を明るくするため電気消す＞＜これからは首相の移動オスプレイ＞＜普通ではない利子なのに普通預金＞……。 「選句をしていると、この時代この国に住む人々の思いが伝わってきます。その志向性のパーセンテージまでがほぼ推測できる」とは仲畑さんの弁。



次週の「来週の売り物記事」は27日（木）発行予定です